

(3) 健康で安心して暮らせるまちづくり

施策 目標	主 要 な 施 策
防犯・防災	1. 災害に備えるまち ①土器地区の9ブロック化により、横のつながりを促進し、地域の特性を活かした自主防災活動を通して、住民の防災意識向上を図る。 ②南海トラフ地震に備え、消防団や防災士と連携して、防災訓練や研修会を開催し、防災・減災の意識向上や防災力強化を図る。 ③地域住民により作成した「防災マップ」を災害図上訓練(DIG)やまち歩き訓練などに活用し、災害に備える。 ④災害時、民生委員と連携し、要援護者の支援をする。 ⑤市と連携して、災害に備えた防災用品や非常食などの備蓄(品)を確保する。
	2. 交通事故・犯罪防止に取り組む安全安心のまち ①学校・自治会・PTA・どきドキ安全パトロール隊などによる児童の登下校時の見守り活動を継続する。 ②どきドキ安全パトロール隊等による防犯パトロールを実施することで、犯罪のないまちを目指す。 ③自治会などと連携して、防犯灯などの設置を関係機関に要請し、住民の安全を確保する。 ④街路灯や道路標識などの交通安全施設の整備を関係機関へ要請し、交通事故防止に取り組む。 ⑤薬物乱用禁止の啓発活動を推進する。
保健・福祉	1. 高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち ①民生・児童委員や福祉ママなどと連携し、一人暮らしや寝たきり高齢者宅に友愛訪問を行う。 ②介護予防のための健康教室などを開催する。 ③高齢者が元気に集まり、みんなで楽しく談笑できるよう「いきいきサロン」の活用推進を図る。 ④認知症予防のために、各種事業に取り組む。
	2. 誰もが健康に暮らせるまち ①生活習慣病や高齢化に対応した健康料理教室を開催することにより、健康づくりを推進する。 ②男性も料理に興味を持つことにより健康を考える料理教室を開催する。 ③市と連携し、病気の予防・早期発見の必要性から、健康診断などの受診を推奨する。 ④風邪や熱中症など季節の健康管理情報を提供する。

■活動の様子



■自主防災会 海拔表示板取り付け



■自主防災会 HUG訓練



■自主防災会 避難所設営訓練



■どきドキパトロール隊の登下校見守り



■民生委員 友愛訪問



■福寿学級 健康講座



■総務部会 土器っ子広場 “防災の話”



■保健部会 男性料理教室

今後の取り組みと課題

- 間近に迫る南海トラフ巨大地震に対し、防災・減災の意識向上を図り、防災力強化に取り組む。
- 自主防災会の立ち上げを目指し、土器地区ブロック化による自主防災活動の定着を図る。
- ハザードマップや地域住民が作成した「防災マップ」活用に取り組み、災害に備える。
- 関係機関に働きかけ、土器地区の内水氾濫による災害防止に努める。
- 独り暮らしや寝たきり高齢者を把握し、見守り活動を継続する。